

東由利町報

No. 305 昭和55年8月1日発行 昭和42年7月18日第3種郵便物認可 毎月1日発行

町の生活目標

- 1.町の心は明るいあいさつ
- 2.きれいな町で健康なくらし
- 3.ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
- 4.学び・働き・助けあう・ゆたかな心



No 305

8 / 1

《より良い子牛を計画的に》

由利畜産農業協同組合連合会では、和牛改良の基本である、全国和牛登録協会の育種事業に基づき、本荘・由利の集団育種事業を推進し、育種登録の基礎を確立しようと、優性研究会準備会を発足させ、○種雄牛および種雌牛の選定○計画交配○保留・育成指導など、子牛の齊一性を高める為の事業を実施しています。

こうした中で、去る7月1日、全国和牛登録協会地方審査員が来町し、“由利牛”の礎となる原種基礎牛認定の本審査を実施し、112頭を認定、種雄牛を指定しました。

指定交配でより良い子牛を計画的に——『肉牛の郷、づくりは、今、着々と進められています。

町議選挙

新しい代表18人決まる

現職13人・前議員1人・新人4人

投票率は96.02パーセント

次点	当選														
加藤	伊東	遠藤	小松	遠藤	長谷	梅津	小野	長谷	阿部	小野	渡辺	佐藤	川尻	五十嵐	小松
煙山	庄一郎	治郎	与惣雄	正男	山二郎	久男	栄一	喜市郎	剛	作右	文一郎	幾郎	嵐宗憲	悌之助	悌之助
45	56	63	57	67	45	46	47	44	60	64	67	60	66	48	65
歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
一三九	一六九	一七九	一八三	一八〇	一三〇	一三四	一五五	一五八	一三九	一三八	一三九	一四〇	一三六	一五七	一三八
四二六	票	票	票	票	票	票	票	票	票	票	票	票	票	票	票
横渡	下吹	藏田	新田	舟木	大琴	下路	下通	高畠	宿	時雨山	下屋	黒渕	上通	上通	上通
農業	農業	農業	農業	農業	商業	農業	商業	僧職	商業						
新	現	現	現	現	現	現	現	現	現	現	現	現	新	前	新

町議会議員一般選挙開票結果

▽投票総数	四、六〇九票	▽有効投票	四、五九〇票
▽無効投票	一六票	▽不受理	二票
▽投票率	九六・〇二パーセント	▽持ち帰り	一票

(敬称略)

七月二十二日任期満了に伴なう町議会議員選挙は、七月五日に告示され、翌日午後五時で立候補の届出が締め切られました。

その結果、告示と同時に現職十四人、前議員一人、新人一人、翌六日に新人一人、計二十人が立候補し、定数の十八議席をめぐつて一週間にわたり、街頭演説などに激しい選挙戦を繰り広げました。

投票は、七月十二日午前七時から町内十三投票所で一斉

開票は、一五〇余人の参観者が見守るなか午後七時から町開発センターで行われ、午後九時前、工藤選挙長から開票結果報告があり、十八人の新議員が決まりました。



当選5回



初当選



初当選



当選4回



初当選



当選2回



当選2回



当選4回

小松悌之助

佐藤文一郎

小松豊

昭和55年7月12日執行

町議会議員一般選挙投票結果表

投票区	当日の有権者数	投 票 数	棄 権 者 数	内 訳	
				男	女
第1(黒渕地区)	346	332	14	95.95%	96.02% 95.88%
第2(住吉々)	351	339	12	96.58%	95.83% 97.27%
第3(袖山々)	178	170	8	95.51%	94.19% 96.74%
第4(館合々)	964	920	44	95.44%	94.41% 96.39%
第5(松柴々)	72	69	3	95.83%	96.77% 95.12%
第6(老方々)	966	921	45	95.34%	94.37% 96.23%
第7(祝沢々)	65	64	1	98.46%	100.00% 96.55%
第8(高村々)	34	33	1	97.06%	100.00% 94.74%
第9(法内々)	344	329	15	95.64%	95.27% 96.00%
第10(藏々)	634	613	21	96.69%	95.42% 97.87%
第11(大谷地、大台)	89	85	4	95.51%	93.48% 97.67%
第12(宿地区)	661	640	21	96.82%	96.58% 97.05%
第13(杉森、沼)	96	94	2	97.92%	95.74% 100.00%
計	4,800	4,609	191	96.02%	95.24% 96.76%

に行われました。

当時は、雨から曇りのあいにくの天気となりましたが、町民にとっては最も身近な選挙とあって有権者の関心もたかく、投票率も前回と同程度の九六・〇二パーセントの高いものとなりました。

小野昭一氏が議長には小松豊氏

副議長には小松豊氏

改選後初の臨時町議会（第四回臨時会）は、七月二十三日に招集され、議長に小野昭一氏、副議長に小松豊氏を選任したほか、議席、常任委員会の構成、議会選出の町監査委員を決め、今後の町議会体制を整え閉会しました。

最年長者の小松与惣雄議員が臨時議長となり、議會議長の選挙に入り、結果、小野昭一氏十一票、小松与惣雄氏七票で、東由利第八代議長に小野氏が選任されました。

このあと小野議長が議長席に着き、議席を決定したあと副議長の選挙に入り、結果、小松豊氏十票、小野作右工門氏五票、長谷山喜市郎氏二票、

小松与惣雄氏一票で、小松豊氏が副議長に選任されました。続いて、各常任委員会の委員を決め、議会選出の町監査委員に小松与惣雄氏を選任し、閉会しました。

常任委員会の構成等は次のとおりです。（○は委員長、（◎は副委員長、①は議席）

○小野要造⑧ ○遠藤治郎助⑭
○川尻幾郎⑯ ○阿部剛⑮
○長谷山喜市郎⑪ ○長沼久文一郎⑬
男⑤ 小野作右工門⑥ 佐藤（敬称略）

○長谷山二郎⑦ ○遠藤正男③
五十嵐宗憲⑩ 伊東庄一郎④
小野昭一⑯ 小松豊⑰
○小野要造⑧ ○遠藤治郎助⑭
○川尻幾郎⑯ ○阿部剛⑮
渡辺清一⑫ 小松与惣雄⑨
○長谷山喜市郎⑪ ○長沼久文一郎⑬
男⑤ 小野作右工門⑥ 佐藤（敬称略）

教育民生常任委員会

建設常任委員会

小野要造

当選 2 回

遠藤正男

当選 4 回

伊東庄一郎

当選 2 回

遠藤治郎助

当選 2 回

小松与惣雄

当選 6 回

長谷山喜市郎

長沼久男

小松豊

当選 5 回

当選 2 回

統合問題特別委を設置

臨時議会

農業委員に小松（与）氏推薦

（敬称略）
農業委員会委員の推薦について

小野昭一氏の委員辞職により欠員となつた議会推薦の農業委員に、小松与惣雄氏（六

十七歳、館合字松沢六十八）を推薦した。

◎長谷山二郎 ○長谷山喜市郎・川尻幾郎・渡辺清一
・小野要造・五十嵐宗憲
・伊東庄一郎・遠藤治郎助

アメシロから緑を守ろう

町で防除機貸します

議員の請求による町議会第五回臨時会が、八月一日に招集され、小学校統合問題特別委員会の設置について、など二案件を審議、いずれも原案どおり可決して閉会しました。

東由利町小学校統合問題特別委員会の設置について

町小学校統合に関する諸問題を審査するため、特別委員会を設置することにし、委員に次の八氏を選任した。（◎は委員長、○は副委員長）

◎大敵 アメリカシロヒトリ
トリが大発生するシーズンとなりました。
アメシロは、戦後アメ

リカからきた害虫で、小さなからだながらも大盛な食欲で、サクラやプラタナス、桑、もなど農作物にいたるまで

アメリカシロヒトリの生活史



食い荒します。

アメシロは、一種で、卵→幼虫→なぎ→成虫、という完全変態する昆虫で、被害を及ぼすのは幼虫期のものです。

本町でも、大発生までには至らないものの数ヵ所でその発生が確認されていますので、

油断は禁物です。被害を受けた樹木の葉は白くスケて見えますので、日頃から回りの木々に目をひから

せ、早期発見、適期防除に努め、私たちの大切な資源である「緑の自然」をアメシロから守りましょう。

防除の方法としては、幼虫が巣あみに入っているうちに枝ごと切り落し、焼き殺すかすりつぶすのが最も効果的です。また巣あみから出て分散している幼虫には、市販のデイプテレックス乳剤の八〇〇倍液を樹木全体に散布してください。町では、防除機を設備し、各自治会単位に貸し出しますので利用してください。

利用申し込みは、産業経済課林業係まで。



高村線は広域農道関連道路として今年から改良される



杉森地区に、ミニ総合事業で水道布設

町道島宮線の延長を、これ	延長	八〇・〇
町道の路線変更について	起点	下吹線接点宿
	終点	宿二号線
	延長	四二七・〇
・路線名	台山二号線	
・契約の方法	指名競争入札	
・工事の概要	延長六九二・五	
・契約の相手方	佐藤組(代表者 佐藤徳市)	
・契約金額	三、八八〇万円	
・契約の締結について	五	
・契約の方法	指名競争入札	
・工事の認定について	台山線接点跡見坂	
新たに次の二路線を認定した。	台山線接点台山	

町道島宮線の延長を、これ	延長	八〇・〇
町道の路線変更について	起点	下吹線接点宿
	終点	宿二号線
	延長	四二七・〇
・路線名	台山二号線	
・契約の方法	指名競争入札	
・工事の認定について	台山線接点跡見坂	
新たに次の二路線を認定した。	台山線接点台山	

昭和五十五年度東由利町一般会計補正予算(第二号)

歳入歳出予算の総額にそれ

ぞれ七千七百九十一万八千円

しております。
なお西山線、高戸屋線及び
林道ボツメキ線は、七月上旬
発注予定で準備を進めており
ます。

次に国県道関係ですが、一

○七号線の蔵工区は一億六千
万円、橋梁整備事業費が一億
一千万円、老方地区バイパス
の交通安全施設が二千万円、
以上が発注されています。

県道では、神岡坂部横渡線
の中の沢地区、仁賀保矢島館
合線の石高地区、羽後向田館
線改良工事が、それぞれ発注
されております。

災害復旧事業関係ですが、
現年融雪災害復旧として、道
路四カ所、七百五十九万三千
円、河川二三カ所、六千四十
されています。

過疎地域振興計画を定めること
について

過疎地域振興特別措置法(昭
和五十五年四月一日施行)の
規定により、東由利町過疎地
域振興計画を定めた。

町営土地改良事業の経費の賦
課基準を定めることについて

昭和五十五年度に施行する

町営土地改良事業に係る経費

の賦課基準並びに徴収の時期

および方法を、次のとおり定
めた。

可決案件

九万円の査定を終えておりま
す。今後予算措置が必要とな
つてくる予定です。

以上概略を申し上げ、行政
報告とします。

一、賦課基準

(1) 釜坂地区圃場整備事業

(2) 海瀬地区草地造成事業

(3) ヤヅマ地区かんがい排水
事業

までの四一三・五から八六
二・〇に変更した。

『国民健康保険税条例の一部
を改正』

所得額や資産税を基数に五
年に必要な税率に改正した
もので、所得割が百分の四・
七を百分の五・三に、資産割
が百分の三〇・九を百分の二
九・四に、均等割(一人当り)
が九千九百五十円を一万六百
七十円に、平等割(一世帯當
り)が一万六千八百四十円を
一万七千六百五十円にそれぞ
れ改正、課税限度額も二十二
万円が二十四万円に引き上げ
られた、などが主なもの。

過疎地域振興のための固定
資産税の課税免除に関する條
例を制定

東由利町に工場を新設し、
又は増設した者に対する固定
資産税の課税免除に関し必要
な事項を定めた。

免除期間は、新たに固定資
産税が課されたこととなつた
年度から三カ年度。

町営草地開発整備事業負担
金徴収条例を制定

地方自治法の規定により、
町が施行する、草地造成、草
地整備改良、道路等整備など
の草地開発整備事業に要する
経費に充てるための負担金の
徴収について定めた。

また総務常任委員会に付託
されていた「大平スキーフィール
ド」および施設を設置してく
ださることについて」の中間
報告がありました。

陳情

このほか、議会に対して陳
情された、「昭和五十五年產
米の政府買入價格等に関する
ことについて」は採択としま
した。

また総務常任委員会に付託
されていた「大平スキーフィール
ド」および施設を設置してく
ださることについて」の中間
報告がありました。

歳入歳出予算の総額にそれ
ぞれ七千七百九十一万八千円



町内最高齢者の佐々木ユキノさん（98歳・大琴）も元気な姿を見せた



八十歳を迎えたお年寄りには、町長から記念肖像写真が贈られた

唄も踊りもまだまだ若い
モンには負けん

長年にわたって社会に尽くしてこられた七十歳以上のおじいさん、おばあさんを敬愛し、長寿をお祝いする敬老会は、六月二十五日（藏・法内宿・袖山地区）、二十六日（老方・館合・田代・黒瀬地区）の両日、町開発センターで行われました。

町では、この敬老会に、昨年より六十八人多い五百十七人を招待。当日は、町連合青年会の会員たちが地域分担をして家から会場までの送迎をやつてくれたお陰もあって、町内最高齢者の佐々木ユキノさん（98歳・大琴）をはじめ、

このあと、米寿を迎えるた菅原鶴三郎さん（八日町）ほか四名の方に敬老祝金、今年八十歳になられた佐藤千代作さん（大吹川）ほか二十二名の方に額入りの記念肖像写

真と記念品、また結婚五十年を迎えた木島葉賀太さんトショさん夫婦（岩館）ほか十三組に祝状と記念品、がそれぞれ町長から贈られたほか、県からは、七十五歳以上の方全員に敬老祝金が贈られました。

式のあと祝宴に入り、お年寄りたちは、町連合婦人会員らの接待で料理やお酒をいただきながら、アトラクションとして同婦人会員の披露する唄や踊りに手拍子を打ち、杯を汲み交し、思い出話に花を

敬老

おじいちゃん
おばあちゃん

マメで長生きして

杯交して思い出話に花咲く

咲かせていました。

また酔いが回るにつれ飛び入りもあとをたたず出、自慢ののどや手踊りなどを披露して、盛大な拍手を受けていました。

高橋松三郎	阿部与四松	木島葉賀太	遠藤松蔵	小松竹三郎	阿部与四松	木島葉賀太	遠藤松蔵	小野民太郎	阿部与四松	木島葉賀太	遠藤松蔵	小松竹三郎	阿部与四松	木島葉賀太	遠藤松蔵	小野民太郎	阿部与四松	木島葉賀太	遠藤松蔵	小松竹三郎																
チヨエ	ユキエ	トショ	テルミ	ツタ	チヨエ	トショ	テルミ	モト																												

蒙御免東由利町長寿番付

東				西			
横綱	佐々木ユキノ	98歳	大琴	横綱	佐々木ミネ	93歳	大琴
タ	畠山子之吉	92歳	大吹川	タ	小松 キミ	92歳	下小路
タ	佐藤アサエ	92歳	黒瀬	大関	長谷山キヨ	89歳	下通
大関	佐藤治吉郎	89歳	寺田	大関	佐々木ノエ	89歳	下通
タ	小野マツエ	89歳	宿	タ	佐藤アキノ	88歳	五海保
関脇	太田ハルノ	88歳	大吹川	関脇	遠藤 太吉	88歳	新処
タ	大場イワノ	88歳	宮の前	タ	菅原鶴三郎	87歳	八日町
小結	鈴木寅次郎	87歳	袖山	小結	遠藤 キノ	87歳	小倉
タ	阿部 清一	87歳	横渡	タ	遠藤 キノ	87歳	大琴
タ	梅津 ヤス	87歳	大琴	タ	畠山タツノ	87歳	大琴
前頭	小松 廣吉	86歳	高戸屋	前頭	高橋要太郎	86歳	下小路
タ	長谷山平八	86歳	宇戸坂	タ	高橋チヨノ	86歳	上通
タ	佐藤マサエ	86歳	中通	タ	小松スハノ	86歳	中通
タ	佐藤 浅吉	86歳	祝沢	タ	阿部 徳助	86歳	岩館
タ	阿部 佐平	86歳	藏	タ	遠藤徳太郎	86歳	新処
タ	小野 勇作	86歳	高屋				

キビキビした動作で技競う

第5分団が各部で1位



訓練式・指揮者の号令に合せ・隊列を乱さずに分散・整列を繰り返す



小型ポンプ操法…制限時間内に一連の操作を確実かつ迅速に

キビキビした動作で日頃の訓練の成果を競い合いました。

結果 第5分団が各部の一位を独占、昨年に続いて二年連続総合優勝を飾りました。

また競技終了後に、住吉・館合両婦人消防隊が消防栓操法を、大琴婦人消防隊・役場特設消防隊が小型ポンプ操法をそれぞれ披露し、参観者や公設団員らから大きな拍手が贈られていました。

とおりです。
（総合の部）
第一位 第5分団（佐々木善一郎分団長）
第二位 第4分団（木島久悦分団長）

※通常点検及び小隊訓練
制限時間五分で、一定の隊列行進や分散・整列の出来具合を競うもの。

※消防操法
一五〇秒の制限時間内に点検から吸管、放水管装着、ポンプ起動、放水開始等の一連の操作を行うもの。

第三位 第3分団（佐藤盛一分団長）
第二位 第5分団二部
第三位 第4分団一部
（小型ポンプ操法の部）
第一位 第5分団一部一班
第二位 第4分団二部一班
第三位 第5分団一部二班
（自動車ポンプ操法の部）
第一位 第5分団一部一班
第二位 第3分団一部
第三位 第2分団一部一班

第三位 第3分団（佐藤盛一分団長）
（通常点検及び小隊訓練の部）

第一三位 第5分団二部
第二位 第4分団一部
第三位 第4分団二部

一般の理由により団員数が減となつたが、町民の消防団に対する期待は一層大きなものとなるだろ。機械・施設の充実とともに、技術の練磨に努め、この期待に応えるよう努力してほしい」と述べ、全員で万歳を三唱し、午後四時過ぎに大会を終えました。

成績は次のとおりです。

（総合の部）
第一位 第5分団（佐々木善一郎分団長）
第二位 第4分団（木島久悦分団長）

※通常点検及び小隊訓練
制限時間五分で、一定の隊列行進や分散・整列の出来具合を競うもの。

※消防操法
一五〇秒の制限時間内に点検から吸管、放水管装着、ポンプ起動、放水開始等の一連の操作を行うもの。

最近の傾向としては、子供の夏休みや、勤め先の暑中休暇などの関係もあって、月おくれの八月十五日を中心には盆踊りなどお盆の行事をするところが多くなっています。都会では、七月十五日に自宅の仏壇の供養をし、八月十五日には故郷に帰つてお盆の行事に参加するというスタイルが増えています。

このため、八月十五日前後は、日本列島いたるところで帰省ラッシュが起ります。

ふるさとに帰つて祖先の靈をなぐさめ、なつかしい人々と楽しいひと時を過ごすのはすばらしいことですが、行き帰りの交通事故にはくれぐれもご用心。

町消防大会

今年の町消防訓練大会は七月十七日、団本部・五個分団百八十五名の団員のほか、一つの私設消防団と五つの婦人消防隊、役場特設消防隊、合せて三百四十余人が参加して、台山グランドで行われました。石渡副団長の総指揮のもとに整然と隊列を組んだ団員たちは、名誉統監である町長の觀閲を受けたあと、佐藤団長から、「消防団の責務は、住民の生命と財産を守ること

であり、平素の訓練が大切である。施設・機材は年々充実しており、これに知識・技術が伴わなければならない。団結を基本とする消防精神のもと、町民に信頼される消防団が併わなければならぬ。消防人になるよう努めてほしい」と、訓示を受けました。

続いて競技に入り、通常点検及び小隊訓練に八班、消防操法（小型ポンプ・自動車ポンプ）に二十班が、気合いの入った指揮者の号令に合せ、

町長告示

機械施設の充実と併せ技術の練磨も

閉会式で、成績発表等のあと告示に立つた町長は、「諸

（通常点検および小隊訓練）

市郡消防訓練大会

ボンプ車操法 僅少差で第二位

の部・ポンプ車操法の部でそ

れぞれ前年成績を上回る第二位、小型ポンプ操法の部で第四位と各部に入位入賞を果たし、総合の部でも三年連続第三位となり、本町消防技術が郡内でもトップレベルにあることを物語る、大活躍をしました。

このため、八月十五日前後は、日本列島いたるところで帰省ラッシュが起ります。

ふるさとに帰つて祖先の靈をなぐさめ、なつかしい人々と楽しいひと時を過ごすのはすばらしいことですが、行き帰りの交通事故にはくれぐれもご用心。

栽培方法と市場の動向を探る

先進地の栽培・流通方法、また市場の動向等を視察研修し、転作農家の技術向上と意識の高揚を図ろう——と、町農業総合指導センターでは、七月九日・十日の両日、今年度町が重点転作物として作付推進を図っているカボチャ・スイカ・サトイモ・サヤインゲン、それに夏大いこんを加えた五作物を対象とした「転作農家先進地視察研修」を、町外四町村で実施しました。

研修には、それぞれの転作物に取り組んでいる人たち七人、それに夏大いこんを加えた五作物を対象とした「転作農家先進地視察研修」を、町外四町村で実施しました。

十人が参加、両日とも午前四時に役場前を出発し、最初に秋田市中央御売市場でセリの状況等を視察見学し、同市場丸果秋田県青果株式会社取締役主官の戸井田氏から、市場の動向等について説明を受けました。

この中で戸井田氏は、「大きな転作面積の増加によって、各作物とも市場への出回り量は多くなっており、価格面等心配される点が多いのも事実だ。しかし、いくら多く出回ろうとも良質な物は消費者が買ってくれるし、売れる。皆さんは、お互いに研修・協力して良い品物をたくさん生産し、市場に出してください。販売の方は引受けます」と話し、いささか心配気味の一言を励ました。

このあと、九日には大潟村のカボチャ、西馬音内のスイカのカボチャ、西馬音内のスイカが買ってくれるし、売れる。皆さんは、お互いに研修・協力して良い品物をたくさん生産し、市場に出してください。販売の方は引受けます」と話し、いささか心配気味の一言を励ました。

このあと、九日には大潟村のカボチャ、西馬音内のスイカが買ってくれるし、売れる。皆さんは、お互いに研修・協力して良い品物をたくさん生産し、市場に出してください。販売の方は引受けます」と話し、いささか心配気味の一言を励ました。

このあと、九日には大潟村のカボチャ、西馬音内のスイカが買ってくれるし、売れる。皆さんは、お互いに研修・協力して良い品物をたくさん生産し、市場に出してください。販売の方は引受けます」と話し、いささか心配気味の一言を励ました。

このあと、九日には大潟村のカボチャ、西馬音内のスイカが買ってくれるし、売れる。皆さんは、お互いに研修・協力して良い品物をたくさん生産し、市場に出してください。販売の方は引受けます」と話し、いささか心配気味の一言を励ました。



健康で住みよい農村生活を

都市生活改善 実行グループ 開発センターで交流会

健康で住みよい農村生活を目指して——第十五回農山漁家生活改善実行グループ本荘市由利郡交流会が、七月二十二、二十三日の両日、町開発センターを開催されました。交流会には、郡内内外のグループ員のほか、特別参加と

参加、意見交換や演芸発表など、楽しく意義深い二日間を過ごしました。

初日一開会式のあと、本町代表者、合せて三百人近くが



この中で金子さんは、水稻・露地野菜・養豚を取り入れ、自ら「ぼつこれタマグラ農業」と呼ぶ複合経営の状況を紹介し、「農業はやる気が一番。農政批判をしても生活が楽になるとおもるわけでもなし、工夫しながら経費をかけずに、自分の立地条件を生かした独自の経営をするべきだ」と、金子式農業持論を披露して参加者の共感を呼び、ひとときわ大

きい拍手が送られていました。このあと参加者は、七台のマイクロバスに分乗し、大琴のスイカ転作田、下小路のサトイモ転作田を視察しました。午後六時からは、準備された折詰やお酒、ジュースを交しながら、この交流会のメインイベントとも言うべき演芸交流会。

プログラムには、各グループがそれぞれ趣向をこらした踊りや唄などが盛りだくさん組み込まれ、さらには飛び入りも多く出、どれもが身ぶり手ぶりよろしい大熱演に、広い開発センター集会室内は、終始笑いと歓声が絶えず、終了予定時間を一時間近くオーバーする大盛会でした。

また、この夜の交流会には、佐々木県知事夫人も秋田からかけつけ、手踊りやカラオケなどを特別披露し、会場から盛大な拍手が送られていました。

二日目——朝食のあと、発表の講評、技術交換を行ない、続いて、「明るい農村、農家生活をめざして」と題する、山形県農政評論家の佐藤藤三郎氏の約一時間半にわたる講演に耳を傾けました。

午後一時、全日程を終了して解散。町外からの参加者は、「お陰で大変楽しく、有意義な二日間を過ごさせて頂きました。また来年、元気で会いましょう。ありがとうございました」というございました。また来年、元気で会いましょう。ありがとうございました」というございました。



← 気持ちとは別に、ボールは素直にゲームインしてくれない



町球技大会 奮戦・町球技大会

丸いボールで「和」と「体力」を

丸いボールで、町民の“和”と“体力”づくりを——今年の町球技大会は、六月二十九日に台山グランドなど二会場で行われ、一一九チーム・一、四〇〇余人の選手がおよそ三、〇〇〇人の応援を受け、七種目に白熱したゲームを開催しました。

各チームとも、一日の仕事を終えた夕方から夜にかけ、一ヶ月も前から連日連夜練習に励んできているとのことで、試合では好プレーが続出。

台山一帯には、子どもからお年寄りまでの声援と、「ソーレ、ワン、ツウ、ラスト」「ハイ一番、ゲート通過」「セーフ」といった元気な声が終日鳴りひびいていました。



戦いすんで、生命の水で慰労会これも“和”づくりには欠かせない



↑高村チームが、8年ぶりに自治会対抗家庭バレーで優勝

また各種目事の上位入賞チームには、今年も大日向商会代表大日向貞弘氏から副賞の寄贈があり、喜ばれました。種目別の上位成績は、次のとおりです。

(家庭バレー・自治会対抗)

①高村 ②藏新田 A

(同・四十歳以上分館対抗)

①宿 ②住吉 B

(ゲートボール・老ク对抗)

①法内 B ②法内 A

(同・婦人会対抗)

①藏 B ②法内

(九人制バレー・男子)

①老方 B ②宿 A

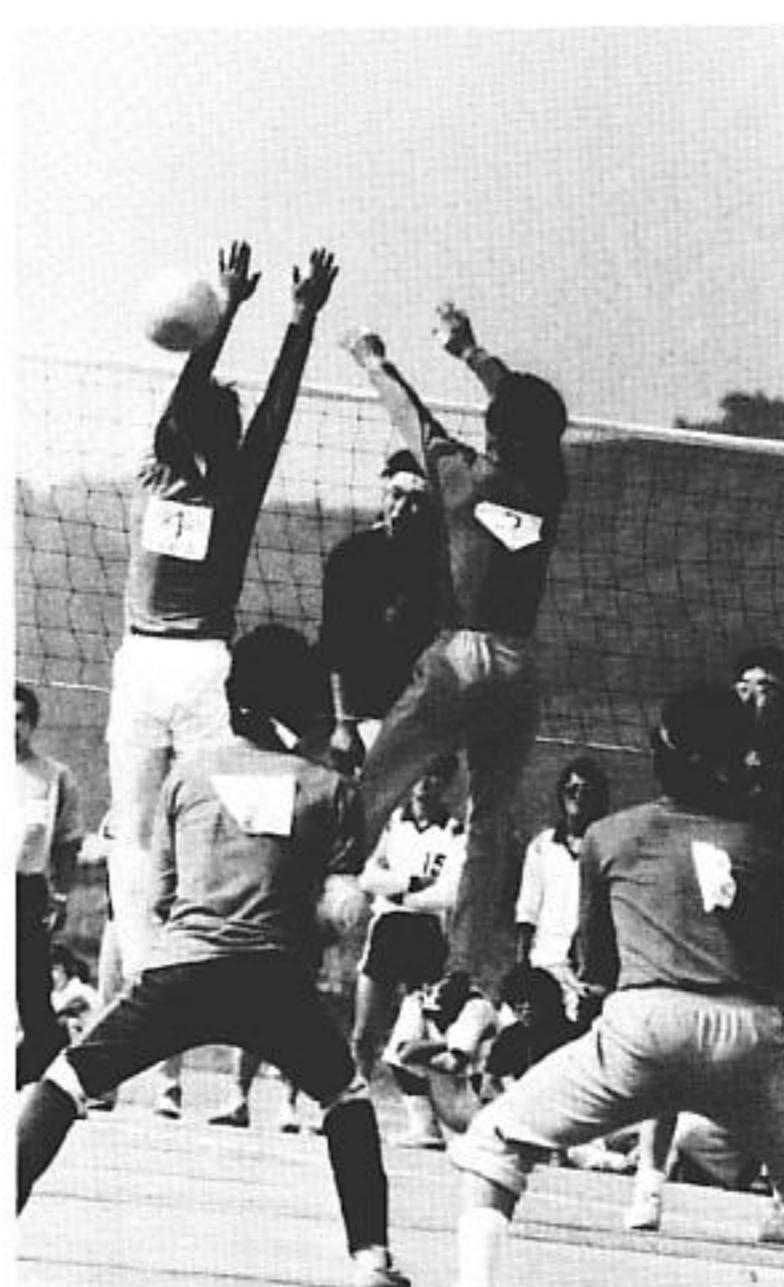
(同・女子)

①老方 ②藏

(ソフトボール)

①老方 B ②玉米

ジャンプ一番、強烈なスパイク——迫力満天の男子九人制バレーボール



東由利の地名(2) 奥ヶ沢



奥ヶ沢

流にある、山のせまつた奥の沢であった。つまり、どちらからみても、沢の奥であるということから、長い間の中で誰からとなく「奥ヶ沢」と呼ばれるようになつたし、ついたものでなかろうか。

奥ヶ沢は二つの藩の接点的な場所でもあって、海のもの、山のものを交換したり、人馬の休んだりする所でもあつたといわれる。しかし、道がけわしいので、江戸末期に兵三郎氏が改修し、その碑が部落はずれにある。

また、内陸雄勝城と海岸の由利(理)柵や秋田城を結ぶ重要な路線であつたとの説もあり、着目されている。

奥ヶ沢は、現在杉森字で、一六四八年の出羽一国絵図によれば、下里村のうちの杉森村とあって、矢島領の記号が付されている。

当時の村高の記録には、杉森村一九石余で、六郷伊賀守拝地(本荘藩)とあるので、元禄一年(一六九八年)に矢島領から本荘領にかわつたものようである。五八年前にも玉米・下郷地区と仁賀保村替えが行われている。

矢島領からみて、下里の奥(はじっこ)であり、本荘領からみても石沢川の上

(畠山昭一)



奉仕の除草を行なう老方老人クラブ会員

公民館のページ

心がけが“肝心”

住民の自發的な取り組みによる道路や河川のクリーンアップが各地で展開され大きな成果を上げている一方で、行政からの呼びかけで初めて重い腰を上げるという取り組み方をしている例も少くありません。

心がけが“肝心”

環境美化は、本来そこに住む住民の“清潔にしよう”“美しいよう”という心がけがなければ、どんなに行政が呼びかけても大きな効果は期待できないと言われます。

消防団も率先して

六月に機構改革を行い、新

しかし、それでもなお河岸や路肩にゴミの散乱した光景が目につくのは、まだまだ町民のすべてに“環境

を美しく”といふ心がけが浸透しているない証拠であるともいえます。

盆中行事に工夫を

実態に目を向けよう

日常生活の中にあるミエやムダを省いて、合理的な生活設計を……”町民の生活目標”について、ある町民から「お盆行事を取り巻く慣習の中に改善すべき点が数ある」として反省を促す指摘が寄せられました。

こうした反省に立って、この“青団連”自主計画

は子どもたちの夏休み期間中をかね“ぶるさと”を求めて帰省した人たちの姿が見られます。

接待役に思いやりを

この接待役を一手に引き受け、さらに盆中行事に追われた婦人たちにとっては、終日台所から出れないという状態の続くことが珍しくなく、今まで疲労が蓄積する時期でもあります。

まず、こうした実態に目を向け、家族の誰かの犠牲の上

環境美化 自らの手で 小さなことから取り組もう

幸い本町では、年々町民自らの取り組みによる環境美化運動が展開され、行政主導型から地域や団体を中心とした自主活動に移行しつつあります。第に効果を上げて来ています。例えば、各地区の老人クラブの皆さんによる墓地の清掃や道路花壇の設置、青年会員による道路のアキ缶拾いや廃品回収、各自治会単位に行われる側溝の手入れや路肩の草刈りなど、數え上げればキリがありません。

しかし、それでもなお河岸や路肩にゴミの散乱した光景が目につくのは、まだ町民のすべてに“環境

を美しく”といふ心がけが浸透しているない証拠であるともいえます。

このたび一町民から寄せられた“…改善を…”という指摘こそは、この伝統的行事を衰退させたくない、という強い願望のものに、派手になり負担が大きくなつて、良い伝統行事の存続を阻害しかねない要因となつてゐるこれらのことを改善すべきだ…”という提言としてうけとめることができます。

お盆を中心とするこの時期は子どもたちの夏休み期間中をかね“ぶるさと”を求めて帰省した人たちの姿が見られます。

ま心“最優先に

このことは、病気等の見舞いやその他すべての冠婚葬祭に共通しているように見うけられます。ただし、本当に喜んでいただけるのは金銭や物品ではなく、思いやりやまじだと言われます。

今年の盆行事を通して、あらためてミエやムダがないかに目を向けてみましょう。そして合理的な生活生計のもとに、伝統行事の良さを最も負担の中で生かし続ける努力をしましょう。

ほど町内の六つの青年団体で組織している青年団体連絡協議会（大沼武旦会長）では自主的な環境美化運動の展開について真剣な討議を行い、明春までには全町民参加の大々的クリーンアップを実施する

幸い本町では、年々町民自らの取り組みによる環境美化運動が展開され、行政主導型から地域や団体を中心とした自主活動に移行しつつあります。第に効果を上げて来ています。例えば、各地区の老人クラブの皆さんによる墓地の清掃や道路花壇の設置、青年会員による道路のアキ缶拾いや廃品回収、各自治会単位に行われる側溝の手入れや路肩の草刈りなど、數え上げればキリがありません。

しかし、それでもなお河岸や路肩にゴミの散乱した光景が目につくのは、まだ町民のすべてに“環境

を美しく”といふ心がけが浸透しているない証拠であるともいえます。

このたび一町民から寄せられた“…改善を…”という指摘こそは、この伝統的行事を衰退させたくない、という強い願望のものに、派手になり負担が大きくなつて、良い伝統行事の存続を阻害しかねない要因となつてゐるこれらのことを改善すべきだ…”という提言としてうけとめることができます。

8月の公民館行事

町民運動会は31日行事をお知らせします。

塩) [7日] 玉米分館老人と子どものつどい [8日] 郡公連委員会(本荘市) [15日] 町成人式(有鄰館) [19日～21日] 小五宿泊訓練(保呂羽山) [21日] 詩吟講座(学習室) [27日] ことぶき大学(朋楽荘) [29日] 移動スギの子広場(有鄰館) [31日] 町民運動会(台山グラウンド)



10の提案

夏の省エネルギー

家庭の対策

いま、国をあげて7%の石油消費節約を進めていることは、みなさんよくご存じの通りです。

猛暑の夏は、クーラーの使用が増えるなど、電気をはじめとするエネルギーの消費が増大します。ご家庭におかれでは、ことしの夏は次のような工夫をされて、省エネルギーにご協力いただくようお願いします。

1

冷房温度は
28度に調節を

クーラーを使う場合は、ごまめに調節を行い、冷房温度をおおむね二十八度に保ちましょう。

冷房温度を一度上げれば、燃料費は約一割節約できます。

4

お風呂は、
沸かし方に工夫を

お風呂の水は、適量を午前中にくんでおいたり、太陽の熱を利用して暖めておいてから沸かしましょう。また、家

族がそろってはいれる時間に沸かして次々にはいると、追いだきをしないであります。

7

電灯は、つけっぱなしにしないようご注意

ころを照明するのが、上手なあかりのとり方です。不要なあかりはこまめに消しましょう。

2

日よけ、カーテンの
上手な利用を

冷房中も、よしずやすだれカーテンを上手に使えば、直射日光の進入を防ぐことがで

5

テレビは、つけっぱなしにしないようご注意

時計がわりにするのは電気の大きなムダ使いになります。



10

住宅には
断熱材の使用を

新しく住宅を建てられる方または増改築をされる方は、

バスの五倍もの多量のエネルギーを消費します。レジャーや通勤、通学、買い物はなるべく鉄道やバスなどの輸送機関や自転車を利用しましょう。

8

ワームや照明器具
のお手入れを

クーラーは、フィルターの掃除を心掛けてください。フィルターの目つまりは、能率が落ち、快適な冷房ができません。照明器具は、ホコリや汚れによって二〇~三〇%暗くなります。月に一度は、お手入れをするのが上手な使い方です。

朝五時三十分ブレイボーリルの第三回春季社会人野球大会は、昨年より五チーム少ない十七チームが参加し、六月二十五日から町民グランド、台山グランドを会場に開催され、連日熱戦を繰り広げました。

野球狂が一年連続優勝

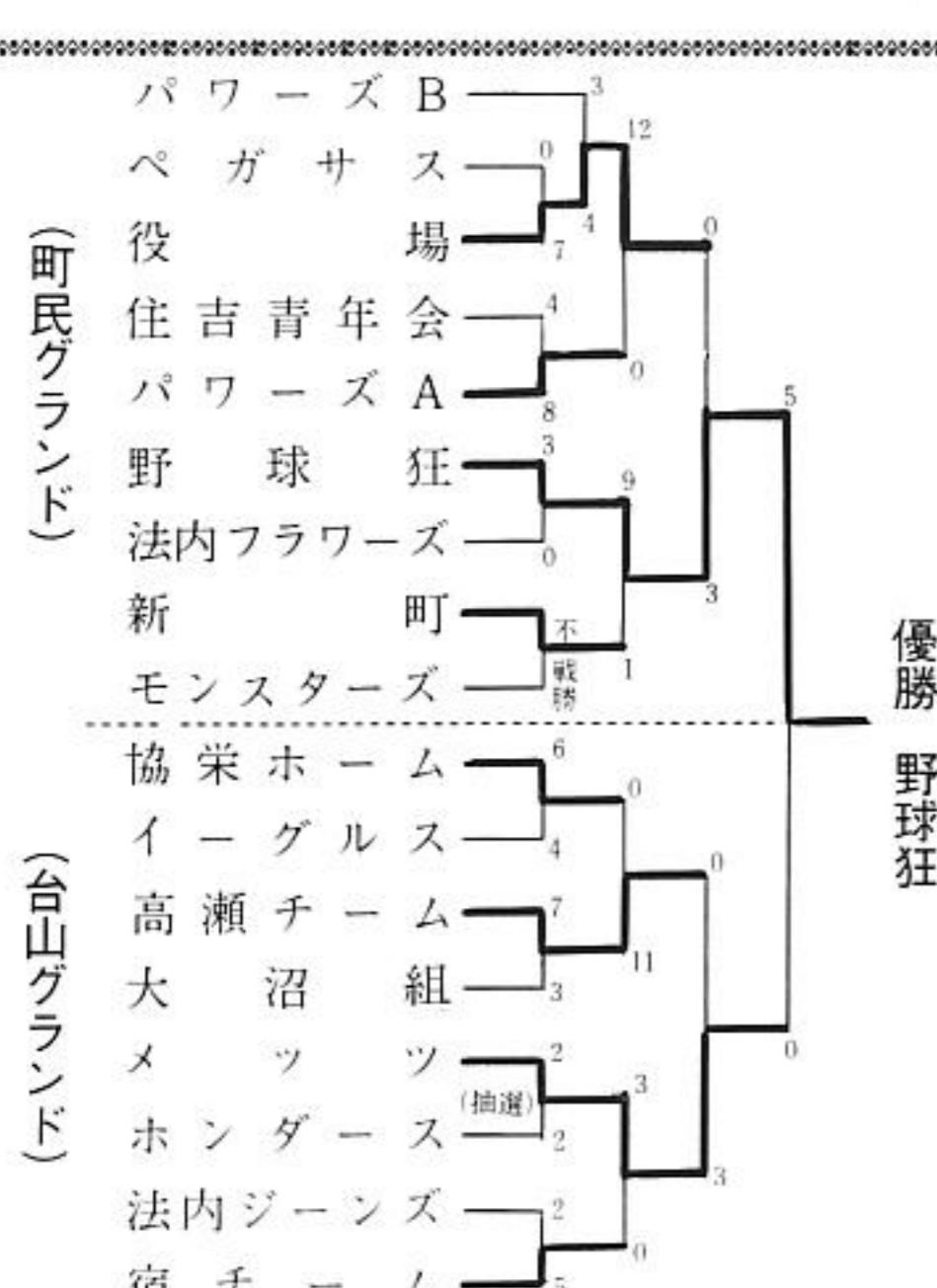
準決勝、決勝は七月六日に行われ、決勝カードは前回と同じ野球狂とメツツの対戦となり、結局、野球狂が、雪辱を期すメツツを五対〇で退け、春季二年連続優勝を果しました。

大会戦績は次のとおり、

9

レジャーは、鉄道、
バスのご利用を

マイカーは一人の人と同じ距離運ぶのに、電車の七倍、



断熱材を入れることをおすすめします。東京地区の普通の住宅（一戸建て、延べ床面積約百二十平方メートル）には約二十万円（新築）ほどで断熱材を入れることができます。が、これによつて冷暖房費がかなり節約できます。

東由利町報
の特徴を理解する
ため、東由利の歴史と
文化を学ぶ
ことをねらいに、四半世紀も
前から同部が家施している伝
統ある「巡検」です。
一行は、朋楽荘に寝泊りし
てみると、実際に特徴的な個性
がある人間の生業に触ること
が多くあり、こうした地域の
特徴を肌でとらえるとともに、
部員相互の理解と、先輩を交
じえての融和と親睦を深める
ことをねらいに、四半世紀も
前から同部が家施している伝
統ある「巡検」です。

調査結果は、それぞれの
班でまとめて、九月末に発行
予定の部誌「南暁」三十三
号に掲載、紹介すると言い、
現代版風土記ともいえるよ
うな秋高生の「東由利巡検
記」の発行が、今から楽し
みに待たれるところです。

七月二十三日から二十七日
の五日間、県立秋田高等学校
社会部の一行四十七人（うち
引率教諭二人、OB五人）が
本町を訪れ、行政・風土とい
つた東由利の総合調査を実施
しました。

これは、ふだん、車やバス
で何げなく通り過ぎている
町や村も、そこへ下りて歩い
てみると、実際に特徴的な個性
がある人間の生業に触ること
が多くあり、こうした地域の
特徴を肌でとらえるとともに、
部員相互の理解と、先輩を交
じえての融和と親睦を深める
ことをねらいに、四半世紀も
前から同部が家施している伝
統ある「巡検」です。

4泊5日で東由利巡検

秋田高校社会部が来町



歴史班は、現地調査の前に教育委員会で町の地勢、歴史、館跡などの説明を受けた

組合員を募集

町桐栽培組合

町桐栽培組合（佐藤与吉郎
組合長、組合員二十五人）では、桐栽培面積の増加と特産地としての確立を図ろうと、組合員を募集しています。

組合員は、一団地一〇アに一斉林の場合は四〇本、列状植（杉と桐の混交林）の場合には二十本を植え付けする方ならば誰でも加入できます。加入申し込み、その他詳しいことは、町森林組合、又は組合長にお尋ねください。

ながら、町政・産業・歴史風俗・出稼ぎ、の五班に分かれ、アンケートや聞き取り調査、館跡、昔ばなし、横莊鉄道と住民生活など、それぞれの調査項目に基づく横莊鉄道と住民生活など、それらの調査項目に基づき、町内を北から南へ、東から西へと歩を進め、全身に汗しながら調査にあたりました。

本庄・由利六高校生徒指導連絡協議会（理事長・宮原政敏由利工業高校長）では、次のように「高校生の夏休み生活心得」を作り、夏休みといふ解放感から起こりがちな事故、非行を防止し、生徒の健全育成を図るために、地域の方々の理解と協力を望んでいます。

高校生の夏休み生活心得

本庄・由利六高校生徒指導連絡協議会

諸集会に参加しない。

交通 安 全

1、学校の許可なくバイクの運転免許受験をしない。

2、バイクの使用は、学校の許可の条件内で行ない、遊

同 級 会

第22回社会人野球大会

日 時 8月16日～18日・午前7時～
場 所 町民グランド・台山グランド

優勝？



お詫びと訂正

五月一日発行三〇二号の八ページ「結婚おしあわせに」の記事中、「高藤純子 大内町」となっていますが、「斎藤純子 大内町」の誤りでした。

七月一日発行三〇四号の七ページ「長沢町議会議長が会長に」の記事中、「下郷村議会議員に当選……」、八ページ「誕生おめでとう」の記事中、「鈴木美津美 沼 靖」となっていますが、「東由利村議会議員に当選……」、「鈴木奈津美 沼 靖」との誤りでした。

お詫びして訂正します。

アルバイト

1、自動車・バイクを使うもびには絶対使わない。
2、運転、バイク・自転車の二人乗りはしない。
3、自動車・バイクの無免許運転、バイク・自転車の二人乗りはしない。

1、自動車・バイクを使うもびには絶対使わない。
2、運転、バイク・自転車の二人乗りはしない。
3、自動車・バイクの無免許運転、バイク・自転車の二人乗りはしない。

登山・旅行等

1、登山・キャンプ・旅行等は事前計画を綿密にし、無理のないようにする。実施中は公衆道德をよく守る。（学校の許可を得ること）
2、いずれの場合でも、行き先、帰宅予定期刻、同行者等を家人に知らせてから出かける。

1、夜間外出はしない、やむを得ず外出する場合でも午後九時までには帰宅する。
2、外泊は厳に慎み、やむを得ない場合は保護者間で同意を得る。

1、学校の許可なくバイクの運転免許受験をしない。

2、バイクの使用は、学校の許可の条件内で行ない、遊

3、水泳場監視員等の責任の重いもの、危険のともなうものは学校と相談する。

4、水泳場監視員等の責任の重いもの、危険のともなうものは学校と相談する。

1、登山・キャンプ・旅行等は事前計画を綿密にし、無理のないようにする。実施中は公衆道德をよく守る。（学校の許可を得ること）
2、いずれの場合でも、行き先、帰宅予定期刻、同行者等を家人に知らせてから出かける。



「安全運転お願いします」と赤・黄・緑の餅を配布する板戸の若衆

▽住吉青年会館へござ
枚(12畳分) 長谷山建
設(長谷山清社長、石高
から) 県成田市の丸山土木株式
会社・鈴木強社長から

昭和四十二年七月十八日第三種郵便物認可 発行 秋田県東由利町役場 每月一日発行 一部20円 印刷 KK本間印刷所

安全は、家庭の中からしつけから

・お悔み申し上げます

小松サタヨ 寺田73歳
阿部文 横渡
56歳

斎藤広子 石高 茂男 長女
佐藤紀子 石高 英二女
横山雅弥 石高 伸 二男
遠藤千鶴子 祝沢 富作 長女
嶽石薰 五瀬保 八郎 長男



○誕生
おめでとう

慶弔

6月21日～7月20日

本荘地区組合消防署
東由利分署

○結婚
おしあわせに
新高畠山地橋節子伴仁
佐野浩子信子 松柴
佐藤孝太郎 照信子
浅田照子 仙南村
高橋義夫子 大琴
佐野節子 本荘市
佐野浩子 鎮倉新田
佐野照信子 鎮倉新田
佐野伴仁 智者鶴
小松仁 千葉県

ドライバーに「信号餅」配布 板戸自治会 交通安全を呼びかけ

道路もよくなりました。運転手さん安全運転を頼みます

板戸自治会では七月十四

三箇一組の餅を配って交通安全を呼びかけました。

この日は、村の鎮守様のお祭り。若衆がそろいのほんてんを着込み、恵比寿像をかついで家々をねり歩くとともに走行中の車を止め、「交通安全お

動の一つとして「信号もち」の配布は、今後も続けていくたい」と話していました。

レンズ付虫かごか
らの火災に注意!

最近、全国的に出回っているレンズ付虫かごからの火災

常に便利に出来ていますが、かごの中のオガクズや、葉っぱにレンズを通して日光があり焦点を結んだ場合、それで発火することになります。実験でも、わずか二分でくすぶり、一時間で側面は熔融、二時間で大きく燃えあがっています。

かわいい子供たちのために買った虫かごがあだにならないよう、大人が子供たちに十

町民の ひ ろ ば

町の概要

人口総数	6,385人
うち男女数	3,132人
うち世帯数	3,253人
面積	1,459戸 148.51 km ² (55.6.30)

願いします」と餅を配布。

「何事か」とちょっとまどい気味のドライバーも、差し出された餅を手にして思わず「ニッコリ」、「ありがとうございます」、「一度しつかりとハンドルをにぎりなおして目的地に向か、車を走らせて行きました。

「気をつけます」のことばを残し、もう一度しつかりとハンドルをにぎりなおして目的地に向か、車を走らせて行きました。

母子会話

子供に、どのよう
に小遣いを与えるか——これは、しつけの重要なテ
マの一つです。
子供は、小遣いを通して、
お金の価値はもとより、上
手な使い方など、いわゆる金銭感覚

を身につけていき
ます。と同時に、
自分の生活を自分で管理

ます。と同時に、
自分の生活を自分で管理
するうえで必要な自主性や
計画性も養われます。

その意味では、小遣いは、
子供自身が自分の欲望をコ
ントロールしながら、自ら
の選択のもとに自由に使え
りを進めていきたい。この運
動の一つとして「信号もち」
の配布は、今後も続けていき
たい」と話していました。

が、各地で発生しています。

昨年八月から今年四月まで
に十大都市で、このレンズ付
虫かごが原因の火災が十四件
も発生しており、ひと昔前ま
では想像もつかなかつたこと
です。

子供たちの虫の観察には非
常に便利に出来ていますが、
かごの中のオガクズや、葉っ
ぱにレンズを通して日光があ
り焦点を結んだ場合、それ
で発火することになります。実
験でも、わずか二分でくす
ぶり、一時間で側面は熔融、
二時間で大きく燃えあがって
います。

かわいい子供たちのために
買った虫かごがあだにならない
よう、大人が子供たちに十

るようにしてあげるのがよい
でしょう。
毎日、少しずつ小遣いを与
えるのは、子供にとつても計
画の立てようがなく、その日
暮らしそうな浪費ぐせをつ
けてしまうことにもなりかね

ます。

使い方について
は、あまり細かい
ことまで差し出が
ましく干渉しない
で、自主性を育てるように
配慮をしながら、上手なお
金の使い方と貯蓄の大切さ
を理解させるようにするこ
とが大切です。

小学校も三、四年生になると、
「月給制」や「週給制」による予算生活を送ら
せるのが、子供のしつけの
点からも、よい効果を生み
ます。

は、あまり細かい
ことまで差し出が
ましく干渉しない

で、自主性を育てるように
配慮をしながら、上手なお
金の使い方と貯蓄の大切さ
を理解させるようにするこ
とが大切です。

は、あまり細かい
ことまで差し出が
ましく干渉しない